

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ボーイズ&ガールズ(児童発達支援)				公表日 令和7年1月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		整理整頓をしてスペース確保に努めている。	使用していないバギーの置き場所を工夫してできるだけ広いスペースを作るようにする。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		清掃・整理整頓を行い快適な空間づくりに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		パーティションやカーテンを使用して工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、朝・夕のミーティングや申し送りノートを活用して職員全員が情報の共有と改善に取り組む。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、対象者がいる場合は調査結果に基づいて職員間で話し合いをする。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5	今年度は対象者がいなかったが、問題や課題があれば囁託医に相談している。	同じ法人の他事業所などからもっと意見や評価をもらうようにしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		外部研修に参加した際は、その内容について内部研修をしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、保護者から聞き取りをしっかりと行いアセスメントシートを活用しながら計画を作成する。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、保育士・看護師・理学療法士から意見を聞き計画作成する。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、重症心身障害児のため行動より認知・発達の観点から評価することが多い。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	今年度は対象者がいなかったが、保育士が中心となって、多職種の職員の意見を取り入れて立案する。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	今年度は対象者がいなかったが、利用状況や天候に応じて臨機応変に対応できるよう柔軟性のあるプログラムを立案する。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、子ども一人ひとりの個性に合わせて計画を作成する。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	今年度は対象者がいなかったが、毎朝ミーティングを行い確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、終礼ミーティングを毎日行い振り返りをする。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、連絡帳とサービス提供記録ともできるだけ詳しく記入する。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	今年度は対象者がいなかったが、定期的にモニタリングを行い計画の見直しをする。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、主に児童発達支援管理者が参画、必要に応じて理学療法士や看護師も参画する。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	6	今年度は対象者がいなかったが、重症心身障害児のため現実的に難しい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		事業所として実施していない。 今の所今後も実施の予定はない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		現在積極的には行っていないが今後機会があれば研修等に参加して勉強していく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、できるだけ保護者等と話す機会を設けて、こどもや保護者を理解し、意向の確認をする。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、面談・電話での相談を行う。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	5		保護者からの意向があれば積極的に支援していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	今年度は対象者がいなかったが、HPやSNSを中心に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		今年度は対象者がいなかったが、こどもの表情やしぐさ等をしっかりと観察して気持ちの理解に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	ボランティアさんとの交流を図っている。	事業所の特性上、行事を実施するのは難しいが、今後検討していく課題の一つである。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		現在食事提供は行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		記録をもとに職員で話し合い、振り返りをして事故防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11				